

生活時程の例です

指導時間や内容は児童の状態によって異なります。代表的な時程についてご紹介します。

Aさんの場合

8:55~	ソーシャルタイム
9:25~	コミュニケーションの学習
10:00~	運動・動作の学習
10:40~	ソーシャルタイム
11:00~	自由時間
11:15~	個別学習
11:40~	自由時間
11:45~	個別学習
12:10~	清掃・給食指導・自由時間
12:55~	コミュニケーションの学習
13:10~	ソーシャルタイム
13:45	(保護者との話し合い)

Bさんの場合

8:55~	ソーシャルタイム
9:25~	コミュニケーションの学習
10:00~	運動・動作の学習
10:40~	ソーシャルタイム
11:00~	自由時間
11:15~	個別学習
11:40~	自由時間
11:45~	個別学習
12:10~	清掃・給食指導・自由時間
12:55~	自由時間
13:10~	個別学習
13:45~	コミュニケーションの学習
14:00~	ソーシャルタイム
14:35	(保護者との話し合い)

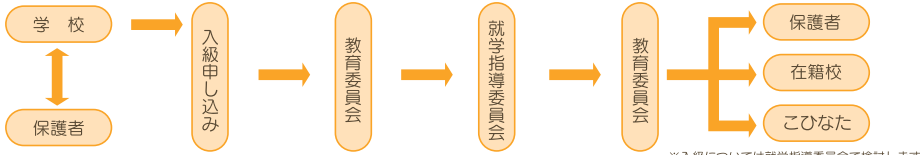
相談をお受けしています

(入級・相談については事前にご連絡ください)

文京区教育委員会学務課
5803-1298

小日向台町小学校「こひなた」
3944-6531 (学級直通)

入級相談の流れ



*入級については就学指導委員会で検討します。

◆学級の地図・交通について

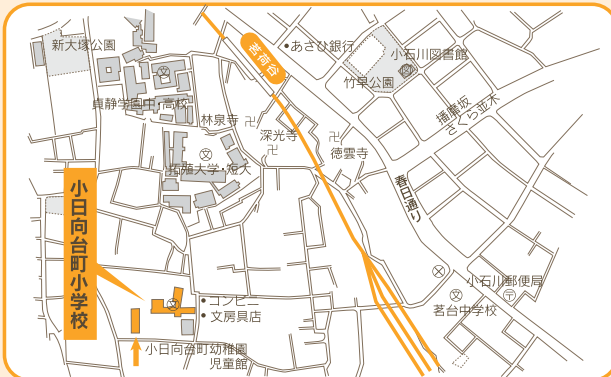
〒112-0006 文京区小日向2-3-8

【交通】 東京メトロ 丸ノ内線
茗荷谷駅 徒歩8分

東京メトロ 有楽町線
江戸川橋駅 徒歩9分

R100 SOY INK
再生紙とSOY INKを使用しています。

印刷物番号: ●●●●●
H18.12.1,600



コミュニケーションの教室

こひなた

文京区立小日向台町小学校



お日さまがもつ「あたたかさ」と「癒し」、
そして、「育み」を大切にしている教室でありたいと
願っています。

こひなたには
丘の上の白だまり
そよぐ風
元気に咲く黄色いたんぽぽ
子どもたちの笑い声
「こひなた」はさんないメージで冬付け
くれました。二〇一五年九月 石川 佑 かく

平成17年度より、小日向台町小学校に コミュニケーションの教室「こひなた」が開設されました。

文京区では、駒本小学校にコミュニケーションの教室「いずみ」がありますが、
通級のニーズが高まり、本区2番目のコミュニケーションの教室ができました。
「いずみ」同様、一人一人の児童のニーズに応じた指導を目指します。

コミュニケーションの教室とは？

現在学んでいる学校(在籍校)での学習や生活に円滑に参加できるように、コミュニケーションの力や社会性を育てていく学級です。

- 通級制の教室。現在通学している学校に学びながら、週の内の数時間～1日コミュニケーションの教室に通って指導を受けます。通級した日は、出席日数に数えられます。
- 通級回数・曜日・時間・指導内容などは、児童の状態によって弾力的に決めています。

わが子へのこんな願いにこたえる学級です。

- 例えば……
- * 友だちとのかかわりを深めて、楽しく一緒に遊んだり、学習したりしてほしい。
 - * 自分の思いや言いたいことをもっと上手に表現できるようにしたい。
 - * 集中力をつけて落ち着いた気持ちで勉強してほしい。
 - * ある特定の苦手な教科も意欲をもてるようにしたい。
 - * 自信をつけて、自分から話をし、学習や遊びに積極的に加わってほしい。

小集団学習



ソーシャルタイム

風船バレーボールなどで、グループ全員で遊びます。人とかかわる楽しさ、人に合わせる大切さを遊びの経験を通して学びます。ルールやきまりを守って、競い合ったり協力したりする場面を意識的につくります。伸び伸びと気持ちを表現し合う中で、集団生活に必要な社会性スキルを身に付けます。



コミュニケーションの学習

良い姿勢で、話し手に注目して話を聞くなど、「聞く」力を身に付けます。

スピーチ等で、経験を順序よく話す、自分の気持ちを伝える、言葉のやりとりなど「話す」力を培います。他の人が話をしている時には、口を挟まないなど、会話のルールを学習します。



運動・動作の学習

リーダーにしっかり注目して、動きを模倣します。身体の部位や動きを意識して、動きを調整する力を養います。指示を聞いて素早く動く、周りの動きに合わせて動くなど、いろいろな運動の経験を増やしなが、集団へ参加する力を育てます。

こんな指導をしています。

一人一人のニーズをもとに、個別のプログラムを立てて、1対1の個別指導を原則にして指導しています。
小集団指導では、お話の学習、ルールのある遊びや競技、運動・動作の学習、清掃等々の活動を通して①基本的な学習態勢づくり②コミュニケーションの力を付ける③社会性スキルを身に付けることを目指しています。通級してきた同じ曜日の友だちと、楽しい時間を過ごしなが、約束を守る態度や協力し合う気持ちが培われていくように場面を構成して指導しています。

個別指導では、刺激の少ない個別学習室を活用し、指導の方法や教材を工夫して、集中して学習できるようにしています。学習する内容はそれぞれ違いますが、その子の特性や気持ちを大事に「できた」「わかった」という体験を積み重ねて、在籍校で学習していく自信や意欲となるように配慮しています。これらの「こひなた」での学習が在籍校で生かされていくためには、**在籍校との指導のつながり**がとても大切になります。そのために、「こひなた」の担当が在籍校を訪問したり、在籍校の担任の先生と一緒に勉強会をしたりして連携を図っています。

個別学習



一人一人の特性や学習のつまずきによって、指導内容を考え、教材教具を工夫します。小集団学習で体験したことを「さっきのことだけどね」と行動を振り返ったり、「今度はこうしよう」と、めあてや計画を意識するようにします。スモールステップで、達成感が得られるように学習を進めます。在籍校の授業に自信がもてるよう先行学習をする場合もあります。

保護者との面談



家庭と学校とが協力していけるように、保護者との話し合いを大切にしています。指導後の面談、グループ懇談、保護者会、家庭訪問等連携を密にします。

在籍校との連携



コミュニケーションの教室の指導が、在籍校の大きな集団での学習や生活につながるよう連携を図ります。在籍校訪問をし、指導についてのごまめな連絡に努めます。

施設図

